

# 1 シイタケ菌糸体エキス投与により腫瘍抑制効果が認められた、子宮体癌の一例

小濱 隆文、鈴木 信孝\*  
恵寿総合病院、金沢大学医学部\*

シイタケは、癌に対する抑制効果があることが知られており、特にその菌糸体は、癌治療における有用性が期待されている。今回、子宮体癌患者にシイタケ菌糸体エキス（L・E・M；長岡L・E・M研究所）を投与し、腫瘍の抑制効果が認められるので、ここに報告する。

## [症例]

79歳、女性。不正性器出血を認め当院婦人科受診。子宮は軽度腫大。超音波画像では、子宮内にecho free space(+)。子宮頸部、体内膜スミアでclass V (adenocarcinoma)。子宮体癌と診断。子宮全摘出術を薦めるも、本人および家族の強い希望により保存療法となる。

以後、止血剤をよびL・E・M（9g/日）を連日投与した。投与1ヶ月目で不正出血は、消失、3ヶ月後に、子宮頸部、体内膜スミアでclass IIとなる。以後、L・E・Mを3g/日に減量したところ、半年後に再び不正出血、および子宮頸部、体内膜スミアでclass Vが出現、再度9g/日に増量し、不正出血および癌細胞は観察されなくなった。さらに半年後、再々度不正出血、および子宮頸部、体内膜スミアでclass V、さらに経膈超音波で、腫瘍の増大を認めヒスロン400mg/日投与開始、不正出血は減少したが、悪心・全身倦怠感などの副作用出現し、開始2週間で内服拒否となり、再度L・E・M（9g/日）単独投与となった。現在、外来にて経過観察中であるが、全身状態は極めて良好で、軽度の不正出血以外、特に問題は認められていない。

## [結論]

L・E・Mは、子宮体癌の増殖を抑制する効果があることが示唆された。